

# 孤独・孤立対策

令和6年度 地方版孤独・孤立対策官民連携  
プラットフォーム推進事業の取り組み

---

～ 誰ひとり取り残されないまちをめざして ～

令和7年2月18日(火)  
行政改革懇談会

# はじめに

## 孤独・孤立対策とは… キーワードは「つながり」

---

孤独・孤立対策は福祉分野だけでなく、まちづくり・文化・スポーツ・防災・にぎわい…など他視点を包摂するアプローチです。

人が自然と集まるベンチを設置することも、孤独・孤立対策です。

新たな出会いが生まれるイベントの開催も、孤独・孤立対策です。

そこに「つながり」が生まれるもの、「つながること」がポイントとなるものは、孤独・孤立対策です。

分野横断的な視点から、全庁的に、そして町全体で孤独・孤立対策を推進していこうと取り組んでいます。

# 令和6年度は国（内閣府）から採択されました

---

播磨町では、令和6年度に国（内閣府）が展開する「地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業（以下「本事業」という。）」に採択され、孤独・孤立対策の取り組みを推進しています。

本事業は、令和6年度に播磨町をはじめ14団体（政令指定都市3団体、市区町村11団体）がモデル事業として取り組んでいます。なお、本事業は令和4年度から開始されていますが、播磨町は兵庫県で初めて、また町レベルでは全国初の採択となります。

## 地方公共団体における孤独・孤立対策の推進体制（イメージ図）

内閣府資料より

○ 地方公共団体における孤独・孤立対策の推進に当たっては、孤独・孤立対策推進法に基づき、協議の促進の場としての地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの構築するよう努めるとともに、当事者等への具体的な支援内容について協議する孤独・孤立対策地域協議会を置くよう努めることとされている。

○ その際、地方公共団体の内部においても、**部局を横断する庁内連携体制の構築が必要**。

### ① 地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム

・関係者間で顔の見える関係を構築し、対等に相互につながる「**水平的**」な連携・協働を促進する。  
・孤独・孤立の実態把握、取組方針の策定、情報共有、相互啓発活動、当事者等への支援（具体的な支援内容の協議は孤独・孤立対策地域協議会で実施）、社会資源の開発、住民への情報発信、普及啓発活動、人材確保・育成のための研修等に取り組む。



#### 地方公共団体 (行政機関の各部署)

首長

- ・企画部門
- ・総務部門
- ・経済振興関係
- ・子ども関係
- ・教育関係
- ・福祉全般関係
- ・環境関係
- ・まちづくり関係
- ・土木関係
- ・防災関係 等

部局を横断する  
庁内連携体制の構築

・地方公共団体が設置する各種機関（保健所・保健センター、学校 等）

#### 当事者等支援を行う 民間団体

- ・保健・医療・福祉等の専門機関
- ・社会福祉法人
- ・社会福祉協議会
- ・NPO 等

#### 地域住民、地域団体

- ・町内会
- ・民生委員・児童委員
- ・保護司
- ・ボランティア 等

#### 民間企業

- ・地域の企業
- ・商店街
- ・商工会 等

#### その他関係団体

- ・様々な分野の市民活動団体（スポーツクラブ、文化芸術サークル、環境保全NPO 等）
- ・生協、農協、漁協、労働者協同組合 等

### ② 孤独・孤立対策地域協議会

当事者等支援を行う関係者で構成し、情報の交換を行うとともに、当事者等への具体的な支援内容について協議する。



※事務に従事する者・従事していた者に秘密保持義務（罰則付き）あり

※併せても地域の実情に応じて組み立て

# 令和6年度の取り組み内容

---

すべての人を優しく包み込み、共に支え合い、人と人との「つながり」が生まれるまちをめざし、

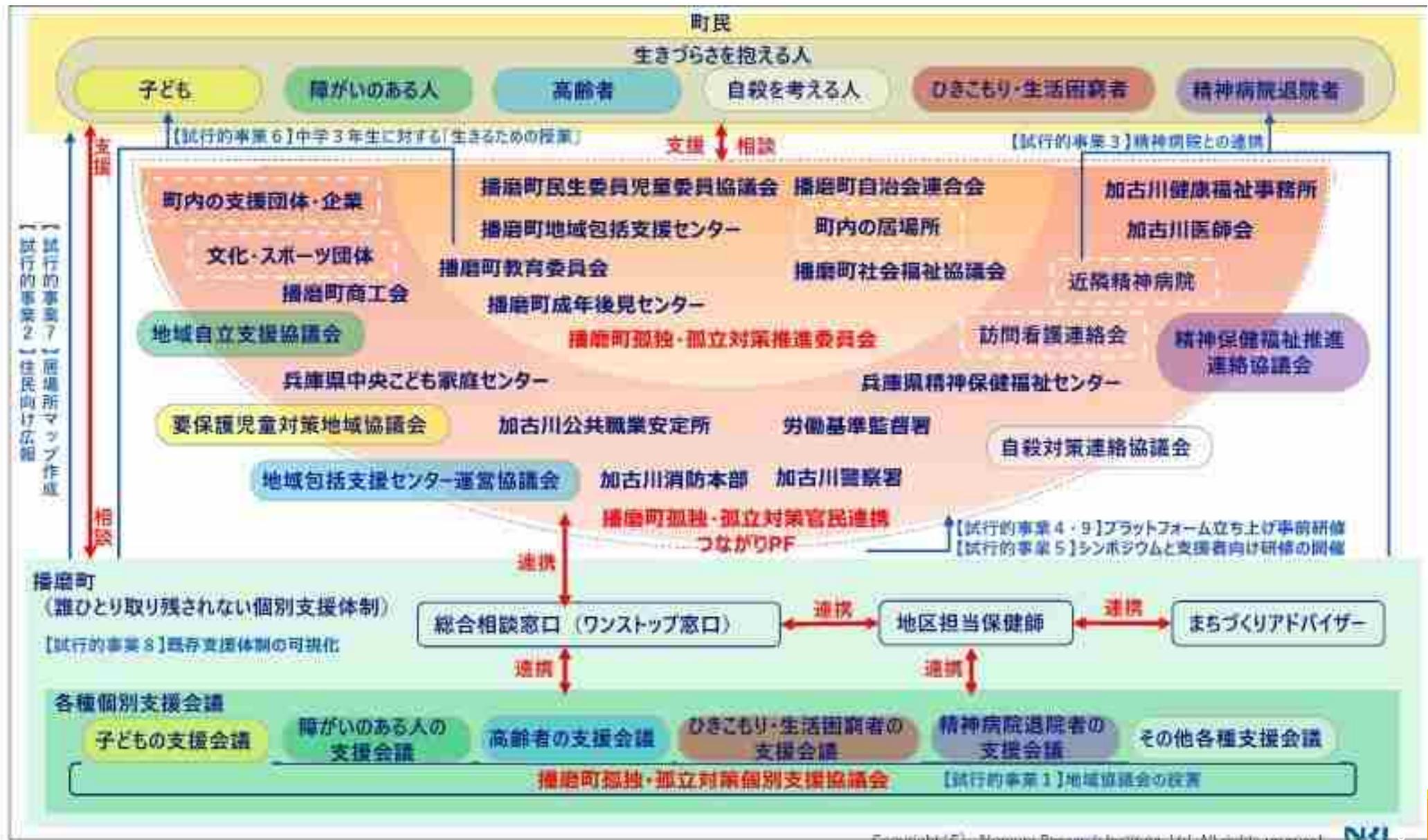
○ 困ったときに気軽に声をあげられる・声をかけられる体制づくり

○ 孤独・孤立の予防

○ わかりやすい相談支援

などに取り組んでいます

# 体制づくり① 播磨版 孤独・孤立対策官民連携プラットフォームのイメージ図を描く



# 体制づくり② 全職員への研修の実施



<講師> 大西連 様  
 ・認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい理事長  
 ・内閣府孤独・孤立対策推進室 孤独・孤立対策推進参与

部長級・課長級の職員皆さまへ

## 孤独・孤立対策官民連携 プラットフォーム立ち上げ研修

福祉保険部では、令和6年度に内閣府「地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業」に取り組んでおり、令和7年度のプラットフォームの立ち上げに向けて準備をしております。  
 孤独・孤立対策は福祉だけでなく、まちづくり・文化・スポーツ・防災・にぎわい…など他視点を包摂するアプローチであり、プラットフォームは各課において活用できるものです。  
 各課長におかれましては、今後のプラットフォーム構成員を担ってもらうことになります。  
 そこで下記のとおり研修を実施しますので、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

**日時** 11/18日 17:45~19:00

**場所** 第1庁舎3階 BC会議室

**対象** 部長級・課長級の職員  
 (ご希望の場合は課長補佐・係長も可)

**講師** 大西連氏  
 ・認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい理事長  
 ・内閣府孤独・孤立対策推進室 孤独・孤立対策推進参与

**申込方法** 11月1日(金)までに下記フォルダ内の出席表に入力ください。  
 X:\21\_健康福祉課\孤独・孤立対策モデル調査事業  
 \★[11月1日必切] 孤独・孤立対策研修出席表

**問合せ** 健康福祉課:竹内(内線:262)



**大西連氏プロフィール**  
 1967年東京都生まれ。生活困窮者への相談支援活動に携わりながら、日本国内の貧困問題、生活保護や社会福祉制度について、現場からの声を発信、政策提言している。著書に『さきはる「貧困」(ギフタ社)』。

① 部長・課長級職員対象

課長級の職員皆さまへ

## 孤独・孤立対策官民連携 プラットフォーム立ち上げ研修 ～フィードバック編～

11月18日に実施した「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム立ち上げ研修」のご参加、アンケートのご回答をありがとうございました。  
 非常に多くの方にご参加いただき、アンケートでもご意見等を多数いただきました。  
 反響が大きかったため、大西参与に再度お話しいただき、いただいたご意見・ご質問にわかりやすい形でフィードバックさせていただきます。(座談会的なゆるい感じで行っています。)お忙しい中恐れ入りますが、ご参加いただけますようお願いいたします。

**日時** 12/16日 16:00~17:15

**場所** 中央公民館2階 視聴覚室

**対象** 課長級の職員  
 (ご希望の場合は課長補佐・係長も可)

急遽、再登場!

プラットフォームって結局何?

自分の課が関わられることは?

具体的なイメージが欲しい!

今後の方向性は?

**申込方法** 12月10日(火)までに下記フォルダ内の出席表に入力ください。  
 X:\21\_健康福祉課\孤独・孤立対策モデル調査事業  
 \★[12月10日必切] 孤独・孤立対策フィードバック研修出席表

**問合せ** 健康福祉課:竹内(内線:262)



**大西連氏**  
 ・認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい理事長  
 ・内閣府孤独・孤立対策推進室 孤独・孤立対策推進参与

② 課長級職員対象

課長補佐級以下の職員皆さまへ

## 孤独・孤立対策官民連携 プラットフォーム立ち上げ研修 ～若手・中堅職員編～

播磨局では、現在、内閣府「地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム推進事業」に取り組んでおり、令和7年度のプラットフォームの立ち上げに向けて準備をしております。  
 孤独・孤立対策は福祉だけでなく、まちづくり・文化・スポーツ・防災・にぎわい…など他視点を包摂するアプローチであり、プラットフォームは各課において活用できるものです。  
 すでに課長級の職員を対象に研修を実施しており、ご協力をいただいております。  
 令和7年度からは「孤独・孤立対策部会」を立ち上げ、皆さまにも部会員としてご参加いただくこととなります。そこで下記のとおり研修を実施しますので、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

**日時** 3/4火・5水  
 ①3/4 14:00~16:00  
 ②3/5 10:00~12:00  
 ③3/5 14:00~16:00  
 ①~③の日程のいずれかにご参加ください。

**場所** 第1庁舎3階 BC会議室

**対象** 課長補佐級以下の職員

**講師** 大西連氏  
 ・認定NPO法人自立生活サポートセンター・もやい理事長  
 ・内閣府孤独・孤立対策推進室 孤独・孤立対策推進参与

**申込方法** 2月14日(金)までに下記フォルダ内の出席表に入力ください。  
 X:\21\_健康福祉課\孤独・孤立対策モデル調査事業  
 \★[2月14日(金)必切] 孤独・孤立対策研修出席表

**問合せ** 健康福祉課:竹内(内線:262)



③ 若手・中堅職員対象

## 体制づくり ③

# 協議会・委員会の設置

### ①「播磨町孤独・孤立対策個別支援協議会」の設置

孤独・孤立対策を推進するために必要な連携及び協働を図るため、令和6年9月1日に「播磨町孤独・孤立対策個別支援協議会」を設置しました。

この協議会では、支援を行う関係者で情報交換を行うとともに、当事者等への具体的な支援内容について協議をします。

### ②「播磨町孤独・孤立対策推進委員会」の設置

孤独・孤立の問題に対し関係課等が連携し、問題を解決するための積極的な施策の推進、人と人とのつながりを実感できる地域づくりの推進のため、庁内の全課長が委員となって協議をする「播磨町孤独・孤立対策推進委員会」を設置しました。

また、中堅・若手職員が意見を出し合う「孤独・孤立対策部会」を設置し、全庁的に孤独・孤立対策に取り組む体制を整えました。

# 体制づくり④ 支援団体への理解と協力の依頼



**参加費 無料**

播磨町を支える皆さま対象

## 播磨町孤独・孤立対策シンポジウム

誰ひとり取り残されないまちをめざして

令和7年  
**1/18(土)** 13:30~16:00 (入場13:00~)

📍播磨町中央公民館 大ホール

パネルディスカッションの司会者として  
**大西 蓮**

基調講演「孤独・孤立問題とその支援」  
認定NPO法人自立生活サポートセンターもやい理事長  
内閣府孤独・孤立対策推進室 孤独・孤立対策推進参事

パネルディスカッション  
播磨町にどんなつながりがあれば良いか、自分達にできる孤独・孤立対策について話し合います

12/27(金)までに下記QRコードもしくは健康福祉課までお電話にてお申し込みください (定員200名)

播磨町役場 健康福祉課  
☎️ 079-435-2611 (平日 8時30分~17時15分)

第1部	
13:35~14:35 (60分)	基調講演
14:35~14:45	休憩
第2部	
14:45~14:50	民謡 (奥前 祐希)
14:50~15:50 (60分)	パネルディスカッション
16:00	閉会



シンポジウムの様子は、近日YouTube播磨町公式チャンネルにて公開予定!

令和7年1月18日(土)  
「播磨町孤独・孤立対策シンポジウム」を開催しました。本町を支える関係団体(支援者)の皆様を対象に開催し、123名の方々にご参加いただきました。支援者が孤独・孤立の課題を共有し、支援者同士の「つながり」が生まれる機会となりました。

# 体制づくり ⑤

# 研修・シンポジウムでの意見をプラットフォーム構築に向けて反映させていく

## 部長・課長級研修 アンケート結果

播磨町孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム立ち上げ研修 | 研修後アンケート結果

約6割の部署が、プラットフォームを活用できる見込みがあると回答した。  
活用先としては、行政だけでなく、企業やスポーツ団体など民間団体も多く上がった

■プラットフォームの活用方法として、各所属部署の施策や計画に活かすだけでなく、民間企業や自治会、スポーツ団体等、連携している庁外団体への活用も見込めると回答が多かった。

所属部署にて孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム  
を活用できる見込みの有無



活用見込みのうち、具体的な活用方法、活用先

分類	回答
情報連携	窓口や自宅訪問で聞き取った情報を共有する
普及啓発	協議会等での研修開催 イベント等での情報発信
活用先	文化団体 スポーツ団体 イベント参加の民間企業 自治会 児童 入居委員会
施策・計画	子供支援船の運営(不登校対策) 入居尊重の基づくり実施計画(仮称) 生活支援体制整備事業 こども居場所づくり事業 空き家を活用した町内居場所づくり

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. NRI 6

播磨町孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム立ち上げ研修フィードバック会 | 対話内容

孤独・孤立対策のために各課ができる取組案として、  
各課が持つ町民との接点を活かしたものが多く挙げられた

各課の孤独・孤立対策に関する取組案

課名	取組案	課名	取組案
企画課	・ 簡易調査を活用する ・ 住居アンケートを活用する ・ 公式LINEを活用する	保険課	・ 後期高齢者医療保険制度加入者へ訪問する ・ 悪質調査を拒否した方へ訪問する
危機管理課	・ 避難行動要支援者をリストアップし、自主防災組織へ参加するよう呼びかける	こども課	・ 相談窓口に来庁した人の支援ニーズを把握し、担当部署へ繋ぐ ・ 給食日より等の学校からの右たよりに相談窓口等を掲載する
総務課	・ 職がない人の採用 ・ 相談者への仕事の斡旋 ・ 職員研修で他課の業務を共有する	都市計画課	・ 空き家を活用した居場所づくり
検務課	・ 申告書や督促状を送付する際に、生活困窮支援チラシを同封する ・ 非課税者や滞納者を重点的にチェックする ・ 滞納者が滞納者に転じたことを把握してサポートする	教育委員会 教育総務課	・ 数字援助者に案内チラシを渡す ・ 交通指導員から情報提供してもらう ・ 滞り者をリストアップし、アプローチする
債権管理課	・ 滞納原因や滞納相談をもとに担当部署へ繋ぐ ・ 督促状に相談窓口を掲載する	教育委員会 地域学校教育課	・ 学校行事に民間の支援団体にも参加してもらう
住民課	・ 離婚届を受理した際に親権に関するパンフレットを渡す ・ 死亡届を受理した際に、ヤングケアラーや障害認定を受けた場合の相談に関する情報提供を行う	議会事務局	・ 議員に地元の支援ニーズを届けてもらう

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved. NRI 5

## フィードバック研修 課長アンケート結果

## シンポジウム 支援者アンケート結果

アンケート

神戸新聞事業社

Q3 プラットフォームではどのようなテーマを取り上げたいですか？  
回答者数：65名

分類	回答
防災について	・ 防災対策 (他7名) ・ 災害時の助け合い ・ 自主防災会の活性化 ・ 防犯対策により、見守りカメラが設置されたが、メインの道路のみが多く細い道にも取り付けの予算必要 ・ 播磨町内は大規模自然災害がないという安心できる町だけど、全体として危機意識が極めて低い感じ・・・アウトドア食料・意識の高揚 ・ 町民一人ひとりが防災に対してもっともっと勉強してもらおう。例えば防災訓練 (2ヵ月に1回開催等) 自治会の内を細かく
こどもについて	・ こども食堂待機児童 (保育) ・ 子供会、自治会の役割 ・ コミュニティセンターでの子供連にホールが使われていない時に居場所開放 ・ ヤングケアラー ・ 子育てをみながら ・ 子供の居場所づくり ・ 虐待 (要保護、対策協議会)、母子家庭の生活支援、子ども食堂などの居場所、貧困世帯へのフードバンク、中高生の年齢の子供への支援 (居場所、非行、家庭環境への対応) ・ こどもたちを巻き込んだ仕組みづくり ・ 子どもの人権

13

令和7年4月「播磨町孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」立ち上げに向けて準備中

# 孤独・孤立の予防 ①

## 播磨町にある居場所の紹介



播磨町の居場所紹介動画 (3分)



「播磨町の居場所マップ」を  
広報3月号と同時に全戸配布  
予定。



播磨町のつどい場  
居場所マップ

## 孤独・孤立の予防 ②

# 中学3年生への社会保障を学ぶ授業の実施



日常生活でピンチに見舞われた10人のストーリーを通して、社会保障制度がやさしく学べる。あなたや大切な誰かを守るために知っておこう。学校では教えてくれない、生きのびるための大切な知識。

苦境から抜け出すのに使える制度はこんなにあった。不安と孤立の時代に最も必要な本。

宮本太郎  
中央大学法学部教授



<講師>  
特定非営利活動法人  
Social Change Agency  
代表理事 横山北斗様

令和7年3月7日（金）  
播磨中学校・播磨南中学校の3年生を対象に、  
社会保障を学ぶ授業  
「15歳からの社会保障 ～人生のピンチに備えて～」  
を実施予定。

# わかりやすい相談支援 住民への周知・啓発

## 播磨町では 誰ひとり取り残されないまちをめざして 孤独・孤立対策の取組を 推進していきます

**孤独**  
ひとりぼっちと感じる精神的な状態  
さみしいという感情

**孤立**  
社会とのつながりや助けのない  
または少ない状態

「ひとりぼっち(こと)」「自分は決して悪いところではない」と思っている人は、悩みや困りごとが生じた際にひとりで抱え込んでしまいがちです。誰にでも起こりうる問題です。

悩みや困りごと	孤独・孤立	複雑化・深刻化
<b>働き世代の例</b> ●会社の人間関係がうまくいかない ●仕事を休みがちになった	●頼れる人がいない ●誰に相談したらいいかわからない ●どんな制度があるかわからない など	●失業・生活困窮 ●ひきこもり
<b>子育て世代の例</b> ●一人での育児は大変 ●仕事と家庭の両立が難しい		●親子の健康状態の悪化 ●不安による気持ちの落ち込み ●ネグレクト(育児放棄)

**播磨町の孤独・孤立対策**  
 すべての人を優しく包み込み、共に支え合い、人と人の「つながり」が生まれるまちをめざし  
 ○困ったときに気軽に声をあげられる・声をかけられる体制づくり  
 ○孤独・孤立の予防  
 ○わかりやすい相談支援などに取組みます。

具体的な取組は裏面をご覧ください

播磨町

**体制づくり**  
 地域で孤独・孤立対策を進めていくための体制を整えます  
 孤独・孤立対策のキーワードは「つながり」。  
 つながるためのきっかけをどう作っているのか、地域で何を行っているのか、様々な団体と一緒に考え、取組を続ける体制を目指します。

◀ 播磨町のつどい場・居場所マップ  
 QRコードを読み取るとマップがご覧になれます  
 マップは随時更新していきます

**予防**  
 播磨町の中学校で社会保障を学ぶ授業を実施します  
 人生で困ったことが起きた時に「そういえば、こんな手助けがあったような…」と思いでほしい。義務教育の最後に、みんなが安定した生活を送ることを保障する「社会保障制度」について分かりやすく伝えることで、これから生きていく上での助けになる、そんなきっかけを作りたいと考え実施します。

**相談支援**  
 総合相談窓口  
 ☎079-430-6000  
 [火曜日～土曜日 午前9時から午後5時]  
 fukusi03@town.harima.lg.jp  
 それぞれの困りごとに応じた相談先につなぎます

私たちがあなたのサポートをします。お気軽にご相談ください。



[役場保健師・総合相談窓口・社会福祉協議会・地域包括支援センター スタッフ]

総合相談窓口  
 ☎079-430-6000  
 [火曜日～土曜日 午前9時から午後5時]  
 fukusi03@town.harima.lg.jp  
 それぞれの困りごとに応じた相談先につなぎます

気になることはいつでも相談を



播磨町 孤独・孤立対策PR動画 (30秒)

# 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム構築 期待できる効果

- 行政と民間、町全体が同じ方向を向いて孤独・孤立対策に取り組める
- 行政と民間双方の情報発信、情報共有の場となる
- 支援者や当事者のニーズを行政が把握できる
- 支援者同士の「つながり」を作ることで、支援の幅が広がる
- 支援者同士のノウハウを共有できる
- 民間の提案を施策に反映できる
- 行政の手が届かないところの支援を実現する
- 支援者自身の孤独・孤立を防ぐ

## プラットフォーム

播磨町の孤独・孤立対策に取り組む  
「官・民」の支援者が一堂に集う会、  
一堂に集う日というイメージ

# 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム構築 期待できる効果

民間の力を活かす・取り入れることで

## 【行政にとって】

- ・関係者間の水平的な連携と協働
- ・多様なサービスの創出
- ・歳出の抑制
- ・マンパワーの削減

行政改革につながる

行政改革：行政組織及び運営を改革すること

## 【民間にとって】

- ・活動の幅の拡大
- ・施策への反映
- ・理念の実現
- ・団体PR

サステナブルな運営につながる

サステナブル：環境・社会・経済が持続可能なこと

## 【住民にとって】

- ・サービスの選択肢の増加
- ・サービスの質の向上
- ・深刻な孤独・孤立の予防

ウェルビーイングの向上につながる

ウェルビーイング：身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること

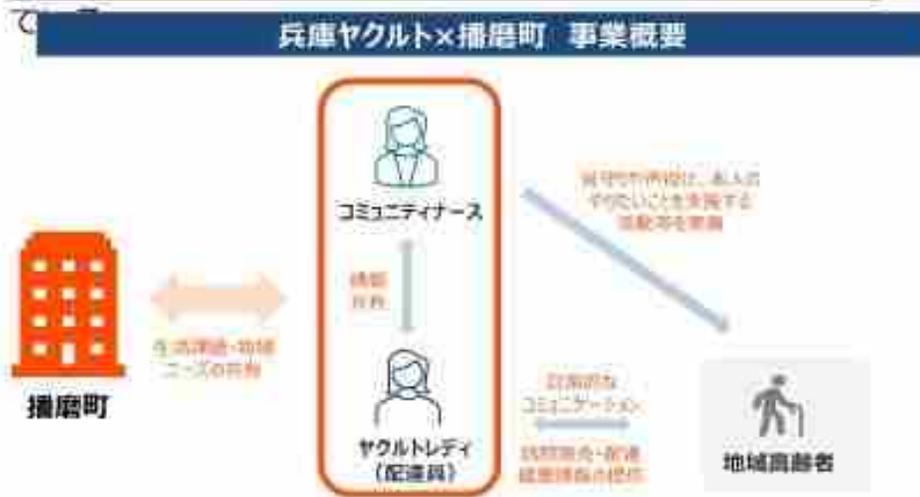
【町全体にとって】 「つながり」の創出 → 誰ひとり取り残されないまちの実現

# 官民連携の検証もしています（地域におけるヘルスケア産業推進事業）

## （参考）自治体と民間事業者との連携①（経産省による今年度調査事業）

### 兵庫ヤクルト販売株式会社と自治体との連携/兵庫県播磨町

- 兵庫ヤクルト販売株式会社（以下、兵庫ヤクルト）では、地域単位に存在するヤクルトレディが高齢者含む地域住民に宅配等を行いながら、健康に関する情報を案内している。また、株式会社CNCと連携し、1名コミュニティナースを配置、地域の健康づくりに向けた取組を行っている。
- 今年度の調査事業は、兵庫ヤクルトが収集している地域の生活課題・ニーズの活用可能性を検討し、民間企業が生活支援コーディネーター等のサポート役を担うことの効果や課題を整理すること、および他地域・他業種への横展開の可能性を検討することを目的に実施した。



兵庫ヤクルトでは、ヤクルトレディが高齢者含む地域住民に宅配等を行いながら、地域住民の生活面の不安や生活の希望等に関する情報をコミュニティナースと連携し、必要に応じて見守りや声掛け、趣味等本人のやりたいことを支援する活動を行っている。これらの取組を通じて得た地域課題・ニーズを自治体と共有することでよりよい打ち手の検討に繋がることを期待している。

※株式会社CNCが推進する「コミュニティナース」とは、日常の暮らしのほかで、職業や資格ではなく、地域の人の暮らしの身近なところで「毎日の嬉しいや楽しい」心と身体の健康と安心を「まちの人と一緒に」つづいていく実践のあり方。（参考：株式会社CNCホームページ <https://cncinc.jp/>）

調査内容	
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部の民間企業では、要介護認定前の地域高齢者のニーズや生活上の困りごとを検知しているが、それらの情報を自治体に伝える仕組みや、自社が持つ多様な民間サービスの情報を高齢者に伝える機会が無い。</li> <li>地域の高齢者のニーズを踏まえた多様なサービスの活用に向けて、各自治体の生活支援コーディネーターにおいては、住民ニーズと社会資源（民間サービス等も含む）とのマッチング機能が求められるが、通いの場の構築や公的サービスとのマッチング業務が中心となっている可能性がある。</li> <li>一部の自治体では、地域の高齢者が利用できる民間サービスの一元化等が行われているが、現状一覧化したサービスを高齢者に紹介する仲介役が限られており、高齢者には民間サービスの情報が届きにくい。</li> </ul>
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間企業が生活支援コーディネーター等のサポート役を担うことの効果や課題を整理すること。</li> <li>本モデルが持続的な事業活動として他地域・他業種への展開が可能なものとなり得るか、ビジネスモデル等の観点から検証を行うこと。</li> </ul>

# おわりに

---

令和7年度は「播磨町孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」を立ち上げ、孤独・孤立対策を推進していきます。

すべての人を優しく包み込み、共に支え合い、人と人との「つながり」が生まれるまちをめざして、官民が一緒に考えていけるような体制を築いていきたいと思っています。

「3×3 (さんかけさん) でちょうどいい」 播磨町だからこそ実現できる、  
誰ひとり取り残されないまちをめざして